

阿智村教育委員会 平成 30 年 2 月定例会会議録

- 会議日時 平成 30 年 2 月 15 日(木) 午後 1 時 30 分より
- 会議場所 保健センター集会室
- 出席者 教育長：黒柳 紀春 教育長職務代理：塚田 紀昭
委員：熊谷 紀夫 委員：原 彰彦 委員：熊谷 歩
事務局：総務兼学校教育係長：塩澤 満 保育園長：長谷川 恵一
子育て支援室長：島岡 佐喜子
公民館兼社会教育係長：石原哲成 学校教育係：山本博宣
(欠 席) 共同調理場係長：佐藤卓郎

1 教育長あいさつ

- (1) 村内小中学校におけるインフルエンザの状況について
第一小学校で 13 日より 4 年生の学級閉鎖が続いているが、他の小学校はない。
- (2) 高校教育課の市町村教委訪問について
県高校教育課改革推進係長が 1 月 31 日来村し、教育長と第二期高校再編実施方針案について懇談した。飯伊の公立高校は少子化により、現在の 34 学級が平成 42 年には 24 学級になる。5 学級規模の学校が 2 校減少してもおかしくない状況にある。阿智高校については、現段階で実施方針案に計画は盛られていない。下伊那南部は生徒減が大きい、阿南高校は中山間地存立特定校として位置付け存続させる方針と聞いた。
- (3) 共同調理場のノロウイルス対応について
2 月 5 日(月)、調理員 1 名から嘔吐症状の報告がありノロウイルスが疑われたため松本の食品研究所へ検査を依頼した。翌日、陽性と判明したため、他の調理員全員の検査を依頼、7 日にさらに職員 1 名の陽性が判明した。その間、村教育委員会は県や保健所と相談の上、6 日に保護者宛通知を配布、7 日の給食は簡易給食、8 日からは生ものを避けた通常給食で対応した。引き続き、安全安心を第一に対応してまいりたい。
- (4) 伍和保育園給食における異物混入について
2 月 9 日の給食において、年長児一人のマカロニサラダにカネタワシの細片が混入されていたことが判明した。該当の保護者に謝罪し全保護者宛通知を配布した。今後は全保育園でカネタワシの使用を禁止することを決定した。
- (5) 後藤正育英基金(仮称)について

後藤正氏より新たに2,000万円の寄付の申し出があった。経済的に苦しい村内の高校生を対象とした奨学金を設立したいとの趣旨である。教育委員会として内容を検討する。

2 協議事項

(1) 平成30年度教育委員会関係事業計画及び予算について

(教育長)

- ・清内路小学校50周年記念事業を11月に予定しており予算を計上。
- ・「ふるさと学習」は校長会と連携してカリキュラム作成委員会を設置。小中学校9年間の体系的なカリキュラムを作成する。
- ・浪合小学校は2020年度頃より入学生減少の見込み。新年度に第三小と清内路小を合わせた3校で小規模校学校課題研究委員会を立ち上げる。

(子育て支援室長)

- ・新年度予算に大きな増減はない。保育サポーターの講師謝礼を上積みした。子育て支援では著名な講師を招きたい。母子保健法改正による子育て世代包括支援センターの準備を進める。
- ・放課後児童クラブは大幅にコストアップしており、また施設も老朽化している地区があり各施設の環境に差がある。来年度は智里東学童保育施設プレイパークにエアコン設置を計画している。学校との連携、防災対策を強化する。

【質疑】

(原 委員)

子育て世代包括支援センターとは、ワンストップサービスとは何か。

(子育て支援室長)

子育て支援が一局で完結できるシステムで、妊娠期から18歳までに対応するサービス。内容は今までと大きくは変わらないが、ハード面の整備を進める。阿智村はサービスはできているが建物をどうするのかなどの課題がある。新たに大きな事業を入れることはせず、保育士や心理士の関われる体制づくりを進める。阿智村らしさを出したい。

(原 委員)

今あるものを整備していく、わかりやすくするということか。

(子育て支援室長)

切れ目のないサービスや相談支援をしていく体制にするということ。

(総務係長兼学校教育係長)

- ・ 小学校の老朽化が進んでいる。30 年近く経過している第一小の天井材落下防止工事、第二小の体育館や昇降口、第三小の緞帳など経年による修繕を予定している。清内路小の校地整備事業は 30 年度に着工する。スクールバスは巡回バスと兼ねている部分もあるが、第一小のスクールバスを更新したい。
- ・ 学力向上事業では、新規に部活動指導員や学校司書、音楽支援員を配置。ICT 機器の整備事業はタブレットを中心にリース 3 カ年計画で取り組む。

(原 委員)

第一小学校は確かに老朽化している。

(熊谷紀委員)

学校司書は具体的に何をするのか。

(学校教育係長)

図書館の環境整備や蔵書点検、新刊の購入や児童生徒へのブックトーク、読み聞かせの指導など。

(塚田委員)

村内を巡回して一人で 6 校を受け持つのか。

(教育長)

そのとおり。フルタイムではなくハーフだが、阿智中学校を本務校に 5 校の小学校を巡回する。

(塚田委員)

学校給食はどうなっているのか。

(教育長)

本年度は米代や地域食材の日の補助を開始した。共同調理場の給食会計は公会計に移行する必要があり新年度検討したい。

(塚田委員)

その方がよい。

(保育園長)

- ・ 6 園体制に複数副園長を配置したことで園の統率がとれ充実した保育ができた。未満児保育も実施園を増やしてきた。来年度は 220 名程度の入園を想定している。
- ・ 来年度は約 1 億円の予算増だが、智里西保育園の建替え工事を予定している。
- ・ 伍和と智里東については延長保育を 6 時まで行える体制づくりを進めたい。

(塚田委員)

延長保育をする場合、職員の給与・手当はどのように対応するのか。

(保育園長)

臨時職員が時間をずらして担当する。またはパート職員で対応する。サービス残業がないように工夫していきたい。

(公民館兼社会教育係長)

- ・来年度は学習会や施設の開放を進めていく。文化財補助事業 100 万円を減じた。利用が低い。
- ・公民館ホールのジェットヒーターやコミュニティー館の印刷機を更新、パーティションパネルを一式購入したい。
- ・29 年度の図書館の利用者数は見込みである。若干減少しているが児童や学生の利用は増えている。図書館が居場所つくりになっている。
- ・海外研修事業については今年度中止したが、中学生や保護者にアンケートを実施し 30 年度は事業を継続する。自己負担を減らす方向で安全に配慮して目的地的を決めていく。結論は出ていないが、夏休み前半を目途にシンガポールやグアム方面を検討している。
- ・社会体育ではニュースポーツ用品を購入したことで普段スポーツをしない人たちがスポーツを始める契機となった。来年度はウォーキングポール体験や研修の機会を設ける。
- ・駅伝大会は 50 周年のためゲストラランナーなどに 50 万円、Wai わい公園の利用調査のために 50 万円の予算を組んでいる。また、安全講習会はきちんと実施する。

(塚田委員)

海外研修の具体案はこれからということかな、基本は個人負担を減少させる方向で。議会はどのような声が出てきているか。

(教育長)

一般質問で継続を望む質問があった。

(塚田委員)

文化財関係はどのようになっているのか。

(公民館兼社会教育係長)

環境に配慮した看板を 15 枚設置した。残りの看板 17 枚は来年度設置する。標柱は 18 本すべて設置した。駒つなぎの桜は調査が終了し開花の時期にあわせて水張りを再開する。元気づくり支援金による記録映像の保存や清内路公民館の保存に努める。千葉家文書の保存や収蔵館所蔵品の展示、公民館と連携した学習会を実施していく予定。

(原 委員)

役場や公民館などの絵画が建物のとんでもないところに放置されている。学校も含めて一度きちんと保管されているか整備する必要がある。大切なものがなくなっていく可能性がある。

(教育長)

前回もご指摘を受けた。係も総務課と一緒に目録などを調べてみたが、意外ときちんと整理されている。本庁舎 2 階にある数枚の絵画も飾れるものは飾る方向で対応している。

(塚田委員)

学校関係は学校に依頼して調べ報告してもらおう。旧清内路中学校は清内路小学校に回したり阿智中に持ってきたが、浪合中学校は残してきた。最後のとりまとめはどこがやっているのか。

(教育長)

財産管理は総務課が行っている。

(塚田委員)

台帳で整理していけるようにしてほしい。

(2) 生活習慣チェックのまとめについて (学校教育係)

- ・特徴的なことは 1、2 年生の就寝時刻が遅いこと。学年が上がるにつれて睡眠時間が短くなる。日曜日は起床時刻が遅くなる。食事は緑色が少ない。歯磨きは夜の歯磨き率が高く、日曜日は朝昼晩 3 回磨きが少ない。
- ・家庭学習時間は低学年は良好だが 5、6 年生は目標時間に 8 割の児童しか届いていない。宿題だけでは目標時間に届かないので自主学習が必要になる。読書は順調に増加している。ゲーム時間が増えており家庭の人と約束事をしている児童が少ない。

(原 委員)

各学校でも参考にして指導に用いたい資料である。子どもは慣れっこになってきている。校長講話などで取り上げていきたい。もう一回どういうものが村で大切にされているか見直して利用していきたい。

(学校教育係)

平成 30 年度は 10 年目になる。親への伝え方や学校での扱いなど見直ししながら進めていく。

(塚田委員)

学校で特徴的なことを説明してもらおうとかしながら地道に情報など出していけ

るように。宿題と自主学習時間は宿題だけで90分はできないのかな。宿題を早く終わった子どもでやる気のある子どもは90分できるのか。

(原 委員)

通年合宿センターの子どもは意欲的に学習に取り組めるが、地元の子どもの一つ終われば満足してしまう。阿智の子どもはやらせないとやらない。点検して学校はどう指導するのか。生活実態が変わりつつある。させていく習慣をつけていかないと。刺激をもらって「もっと」という面が出てこない。センターの子どもは覚悟が違う。自分でガンガンやり出す。させながら習慣をつけて、後は自分でやっていくようにもっていく必要がある。

(3) 後援申請について

- ①「オモテナシ狂言 2018」石苔亭いしだ
 - ・承認
- ②「振って、振られて、」阿智村上演実行委員会
 - ・不承認
- ③「桜コンサート&ライトアップ」実行委員会
 - ・承認
- ④TOSS「五色百人一首」協会長野県支部
 - ・不承認

(4) 卒業式・入学式、卒園式・入園式について

4 報告・連絡事項

(1) 各係より

①学童保育新年度入所児童数について

わんぱく（定員44名応募48名）、にじ（定員40名応募48名）、プレイパーク（定員25名応募18名）、はなもも（定員10名応募7名）

(塚田委員)

定員をオーバーしている施設はどう対応するのか。

(教育長)

児童・保護者の希望内容や家庭環境等をもとに入所条件に順番を付け、公平公正に入所者を決定してまいりたい。

②公民館活動について

・文科省委託事業の人権教育「阿智村人権学習ガイド」が完成。小中高校での学習内容が具体化したので活用を促進する。公民館でも引き続き学習会

や満蒙開拓記念館の見学などのサポートを行う。

- ・社会教育研究集会を2月11日に開催。6分科会で出席者は122名。シンポジウムは65名で例年とほぼ同数。参加メンバーに固定化の傾向がある。
- ・縄文土器展は土器の展示、講演会などを実施。土器づくりは10名、クッキづくりも10名が参加。
- ・平昌パラリンピック応援ツアー参加者は村内で10名。

(2) 3月定例教育委員会開催予定日

3月13日(火)案を、委員の所用により3月7日(水)に変更

4 閉会 (午後3時25分)

教育委員 署名

捺印